

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年8月6日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年8月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【2号機トラス室水位計の指示不良について】 2号機トラス室水位計の指示が徐々に上昇していることを確認。 近傍の他の水位計の指示に有意な変化は見られない為、当該水位計の指示不良と推定。 近傍の他の水位計で代替監視可能。 今後、交換予定。	GⅢ	7月24日
2	【雑固体廃棄物焼却建屋3階給気室の冷却・温水加熱コイルの凝縮水滴下について】 雑固体廃棄物焼却建屋3階給気室の冷却・温水加熱コイルの凝縮水が受け皿の外に滴下していることを確認。 また、受け皿から漏れていることも確認。 対応検討中。	GⅢ	7月30日
3	【5号機作業用分電盤の漏電しゃ断器の動作不良について】 5号機作業用分電盤の漏電しゃ断器に一部動作不良および、管理値を満足しないことを確認。 今後、交換予定。	GⅢ	7月31日
4	【サブドレン浄化設備建屋内CO2濃度計の指示不良について】 サブドレン浄化設備建屋内CO2濃度計の指示不良を確認。 他のCO2濃度計で確認可能。 今後、交換予定。	GⅢ	8月1日
5	【3号機使用済燃料プール監視用カメラ故障について】 3号機使用済燃料プール監視用カメラが落雷の影響で故障。 今後、交換予定。	GⅢ	7月30日
6	【1/2号機排気筒解体装置における6軸アームのカメラ脱落について】 クレーンブーム旋回時に、排気筒解体装置の6軸アームと排気筒避雷針頂部が接触し、6軸アームに設置してあるカメラが脱落した。 脱落したカメラと排気筒避雷針頂部は排気筒筒身内へ落下したと推定。 原因は、クレーンブーム旋回速度が速すぎて、旋回停止の指示が間に合わなかった。 今後、カメラを交換予定。 指示が間に合わなかったことについては、対策検討中。	GⅢ	8月1日
7	【1/2号機排気筒解体装置における通信不良について】 排気筒解体装置の揚重作業時に排気筒解体装置の6軸アームとの通信不良が発生。 通信系の再接続ならびに操作用PCの再起動を実施。 その後、動作確認を行い、正常動作を確認。	GⅢ	8月1日
8	【H6エアータンク設置工事における体調不良者の発生について】 H6エアータンク設置工事の作業時に、現地WBGTが31度に達したため、作業を中止し片づけを行っていたところ、体調不良者が発生。 熱中症Ⅰと診断された。	GⅢ	8月1日
9	【3号機燃料取扱設備の蓋締付装置のボルト折損について】 3号機燃料取扱設備の蓋締付装置を確認したところ、トルクレンチ#4シャフト部のボルトに折損を確認。 他のトルクレンチを使用することで、蓋締付作業は実施可能。 対応検討中。	GⅢ	8月3日
10	【Y装備脱衣時におけるリングバッジ紛失について】 免震棟内のY装備脱衣所でY装備脱衣時にリングバッジを紛失。 個人線量計およびガラスバッジは装着していた。	GⅢ	8月2日